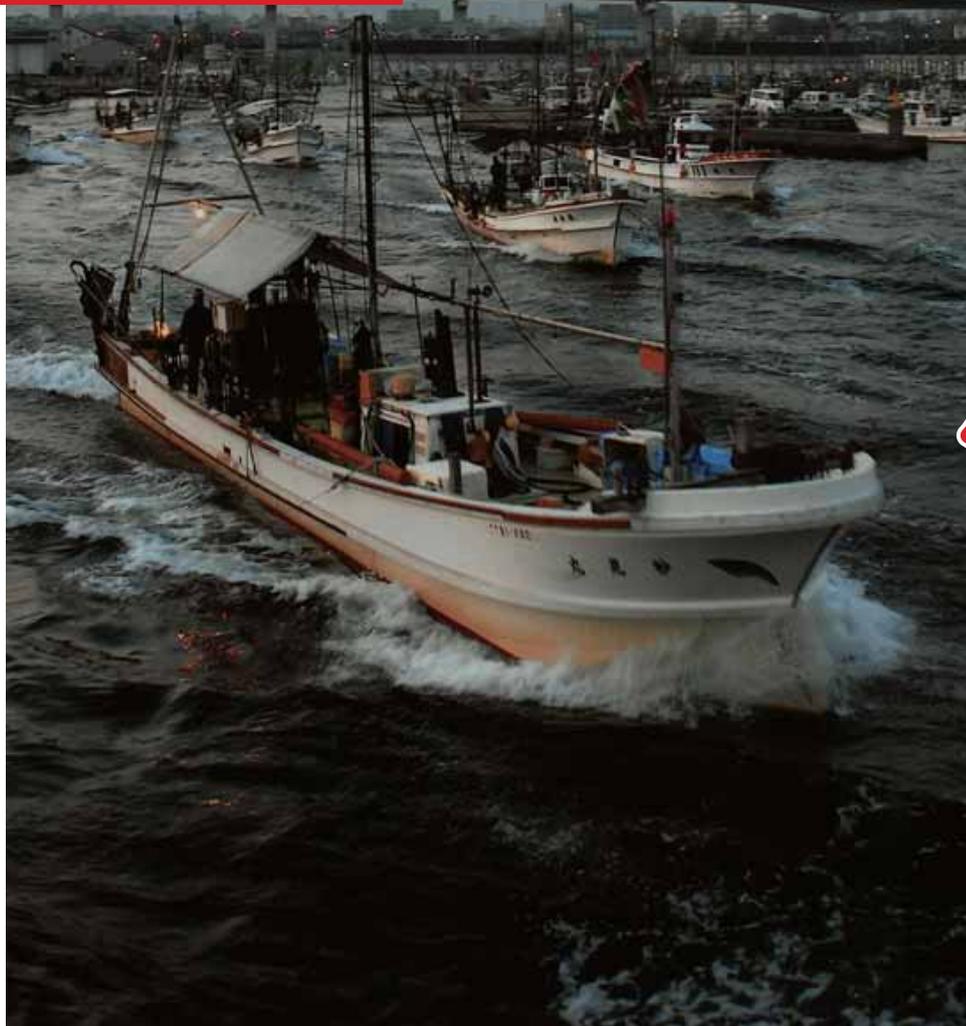


PORTS
OF
OSAKA
PREFECTURE

大阪府の



第31回「海の写真コンクール」大阪府知事賞・大阪府港湾協会会長賞〔出漁：八木真三郎〕

みな
と
2010年1月
No.94

TOPICS

- IAA大阪オートオークション グランドオープン..... 1
- 大阪府港湾局と住友ゴム工業(株)が共生の森づくり共同宣言..... 1
- 「第7回水辺のユニバーサルデザインGOOD PRACTICE賞」を受賞 - 淡輪箱作海岸環境整備事業が評価される - 2
- 「ちきりアイランド(阪南2区)まちびらき式典」が開催されました..... 3
- 臨港道路堺北1号線・2号線を供用開始..... 3
- 2009年堺泉北港ポートセールス訪中国 江蘇省連雲港市・蘇州市を訪問!... 4
- 臨海企業が支える海面清掃の取組み..... 6
- 堺泉北港泉北地区における港湾進出企業の皆さんとの協働美化について... 6

EVENT

- ちきりアイランド(阪南2区)まちびらき記念イベント開催..... 7
- 堺泉北港地元港湾振興会合同視察実施..... 8
- 堺泉北港地元港湾振興会合同研修会開催..... 8
- 港湾施設見学会を開催(高石港湾振興会)..... 9
- 港湾施設見学会を開催(大阪府港湾局堺泉北港湾事務所)..... 9
- 第36回堺港まつり開催..... 9

PORT NEWS

- 2009年中古自動車・合板取扱状況について..... 10

TOPICS

IAA大阪オートオークション グランドオープン..... 1
大阪府港湾局と住友ゴム工業(株)が共生の森づくり共同宣言..... 1
「第7回水辺のユニバーサルデザインGOOD PRACTICE賞」を受賞、淡輪箱作海岸環境整備事業が評価される... 2
「ちきりアイランド(阪南2区)まちびらき式典」が開催されました..... 3
臨港道路堺北1号線・2号線を供用開始..... 3
2009年堺泉北港ポートセールス訪中団 江蘇省連雲港市・蘇州市を訪問!... 4
臨海企業が支える海面清掃の取組み..... 6
堺泉北港泉北地区における港湾進出企業の皆さんとの協働美化について... 6

EVENT

ちきりアイランド(阪南2区)まちびらき記念イベント開催..... 7
堺泉北港地元港湾振興会合同視察実施..... 8
堺泉北港地元港湾振興会合同研修会開催..... 8
港湾施設見学会を開催(高石港湾振興会)..... 9
港湾施設見学会を開催(大阪府港湾局堺泉北港湾事務所)..... 9
第36回堺港まつり開催..... 9

PORT NEWS

2009年中古自動車・合板取扱状況について..... 10

IAA大阪オートオークション グランドオープン

大阪府港湾局振興担当部経営振興担当課

この度、泉大津フェニックスにおいて、株式会社GNNから株式会社IAA大阪が、中古自動車オートオークション事業を平成21年11月1日付けで継承しました。

その株式会社IAA大阪による中古自動車オートオークションが、平成21年11月11日にグランドオープンし、第1回目のオークションが開催されました。

当日は1,925台もの中古自動車等が出品され、多くの中古自動車関係者が集まるなど大変盛況でした。

株式会社IAA大阪は、インターネット等を利用した中古自動車のオークション事業等を展開している株式会社オートサーバーの100%子会社で、これまでの事業とのシナジー（相乗効果）を活かして、中古自動車オートオークション事業を発展させることが期待されます。

現在、大阪府港湾局は、オートオークション会場の近傍に、主に中古自動車を輸出するための岸壁整備を進めており、平成24年度の供用開始を予定しています。

株式会社IAA大阪のオートオークション運営による中古自動車等の集荷から岸壁を活用した輸出まで、一環した輸送システムを構築することで、今後、益々の事業展開の拡大が期待され、堺泉北港の港湾振興に資するものと考えております。



IAA大阪 石橋社長による挨拶
オークション会場内



IAA大阪オートオークション会場

大阪府港湾局と住友ゴム工業(株)が共生の森づくり共同宣言

大阪府港湾局計画調整課計画グループ

住友ゴム工業(株)が、堺泉北港堺第7-3区共生の森において森づくり活動を行うことになり、大阪府港湾局と住友ゴム工業(株)は、10月22日に共同宣言を行い、調印書を取り交わしました。

活動の内容は、住友ゴム工業(株)が、今後5年にわたって共生の森の5,000㎡の区画を植栽するとともに、下刈りや水やりなどの樹木管理を行っていくというものです。

住友ゴム工業(株)は、大阪府港湾局が事務局を務める「堺第7-3区共生の森企業による森づくり連絡調整会」の会員であり、これまで府民による共生の森づくりを直接あるいは間接的に支援してきましたが、会社の取り組みとして、全国的に積極的な緑化活動を展開しているということもあり、自社社員による森づくりを行うことになりました。

森づくり活動に先立って行われた調印式では、大阪府港湾局の中尾恵昭局長と住友ゴム工業(株)の恩賀賢治常務執行役員が調印書に署名し、今後互いに協力して森づくりを進めることを宣言しました。

調印後の10月25日には、社員やその家族約60名が共生の森の整地した1,000㎡の区画にどんぐりの苗木を植えました。

今後は、これらの苗木を育てつつ、植栽エリアを拡大していく予定とのことです。



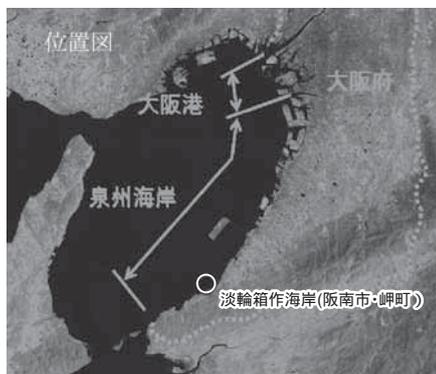
「第7回水辺のユニバーサルデザインGOOD PRACTICE賞」を受賞 ～ 淡輪箱作海岸環境整備事業が評価される～ 大阪府港湾局阪南港湾事務所

「水辺のユニバーサルデザインGP賞」は、NPOユニバーサル社会工学研究会(「NPO USER」)が主催し、今年で第7回となります。この賞は、ユニバーサルデザインをコンセプトに、高齢化社会における“安全、快適でより高質な社会基盤”の向上、“地域の活性化に寄与”しているかなどの観点から選ばれます。

平成21年度の第7回水辺のユニバーサルデザインGP賞に全国17事業がエントリーされ、その中からGOOD PRACTICE(優れた実践)賞に、淡輪箱作海岸環境整備事業が選ばれました。

受賞した淡輪箱作海岸は大阪府阪南市・泉南郡岬町に位置し、その整備延長は約2kmあります。当海岸の特色は、中央部に潮の干満差を利用した磯浜、タイドプールを配置し、自然の荒々しさを感じながら、変化のある眺望を楽しめること、磯浜背後には静穏度の高い砂浜を整備し、身体障がい者の人でも安心して利用できるバリアフリーになっていることです。この場所で子どもたちが磯浜の生物観察や稚魚の放流を行うなど環境学習の場として利用しています。

授賞式でNPO USERの選考委員から『潮の干満差を利用した縦断構成は、海岸の自然な営みが子どもを育て、自然を使う訓練の場を提供するとともに、自然の脅威を感じずと危機管理意識が涵養され、人間力を鍛錬する場を提供している素晴らしい事例』という評価を頂きました。



NPO USERは特定非営利活動促進法によって定められた内閣府認証の法人(H13.4.12)。

「ちきりアイランド(阪南2区)まちびらき式典」が開催されました

大阪府港湾局振興担当部開発調整担当課

岸和田市の沖合いにある埋立地、ちきりアイランド(阪南2区)において、岸和田市制誕生日にあたる11月1日に大阪府と岸和田市の主催で「まちびらき式典」が開催されました。

式典は、同地において岸和田市貝塚市グリーンセンターの稼働や進出企業の工場建設・操業が進み、新たな「まち」が形成されつつあることを記念して開催されたものです。主催者をはじめ、府議会・市議会議員や進出企業の方々約100名を集めて執り行われました。

【まちびらき式典(概要)】

主 催：大阪府・岸和田市

日 時：平成21年11月1日(日)10:00～11:00

場 所：ちきりアイランド(阪南2区)

財団法人大阪府都市整備推進センター
阪南事業所内

次 第： オープニング演奏

開会

主催者挨拶

来賓祝辞

来賓紹介

祝電披露

事業紹介

記念演奏

セレモニー

閉会



臨港道路堺北1号線・2号線を供用開始 大阪府港湾局計画調整課計画グループ

堺北港堺2区において、臨港道路堺北1号線および2号線が、12月18日(金)に供用を開始しました。

堺2区では、増大する取扱貨物に対応し、物流の安定化、効率化を目指すとともに、大規模地震発生時に海上からの輸送ルートを確認することを目的として、国土交通省近畿地方整備局が基幹的広域防災拠点(耐震強化岸壁、臨港道路、緑地)の整備を進めていますが、このうち臨港道路について整備が概ね完了したため、供用を開始することになったものです。

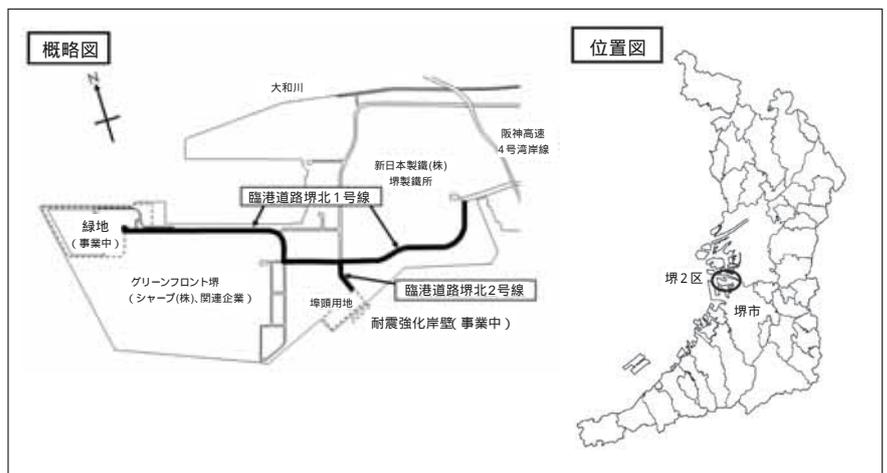
これにより、堺浜えんため館などへの交通利便性が向上し、市街地と臨海部の結びつきがますます強化されることになります。

また、耐震強化岸壁や緑地の整備が完了すれば、有事の際にはこれら物資輸送の拠点と市街地をつなぐ、まさに「命綱」として、大きな役割を果たすことになります。

臨港道路の概要

堺北1号線：延長約3.2km 2～4車線

堺北2号線：延長約0.3km 2車線



2009年堺泉北港ポートセールス訪中団 江蘇省連雲港市・蘇州市を訪問!

大阪府港湾協会では、大阪府港湾局と地元企業等のメンバー20名で構成する堺泉北港ポートセールス団(団長:中尾恵昭港湾局長)を結成し、11月9日から13日までの5日間、中国の連雲港市、蘇州市を訪問しました。

今回の連雲港市訪問では、「堺泉北港の紹介」、「堺泉北港における物流、貿易の促進」、「定期コンテナ航路の開設」の3つを目的に、セミナーや商談会を開催しました。蘇州市では、表敬訪問や地元企業への視察などにより蘇州市との友好を深めました。

11月9日

関西国際空港で結団式を行い、青島空港を經由し、発達著しい高速道路をバスで連雲港市へ向かいました。連雲港市のホテル神州賓館で人民政府への表敬訪問を行い、市長との会見で連雲港と堺泉北港の相互の説明と意見交換を行いました。また、両港は1983年(昭和58年)に友好港として提携しており、今回の訪問を機に両港がさらに発展していくよう、互いに協力していくことを確認しました。



連雲港市人民政府表敬訪問

11月10日

堺泉北港の知名度向上と利用促進のため、PRセミナーを行ないました。訪問先人民政府代表者からの歓迎の挨拶に始まり、団長である大阪府港湾局中尾局長の挨拶、府営港湾の紹介プレゼンテーションを実施しました。連雲港市人民政府関係者、現地物流企業など約100名の方々が集まり、プレゼンテーションを熱心に聴いていました。



連雲港市ポートセミナー

(1) 商談会

ポートセールス団から3社3名の団員が、商談会に参加しました。連雲港市の現地企業と熱心な商談が行われ、短い時間の商談で契約が成立した企業もありました。



連雲港市商談会

(2) 視察

連雲港港コンテナバースで港口管理局より、整備計画について説明を受けました。コンテナの年間取扱個数300万TEUを目標に、新たなコンテナ埠頭の整備に取り組んでいると説明を受けました。連雲港港は中央アジアを経て欧州オランダのロッテルダムまでを鉄道(ユーラシアランドブリッジ)により結ばれています。連雲港港には鉄道の駅が整備されるなど、物流基地として重要な役割を果たしているとのことでした。

午後から、連雲港市計画館の視察を行ないました。ここでは、連雲港市全体を現した大型模型と映画により連雲港市の歴史と現在そして未来について、また、連雲港港とユーラシアランドブリッジによる2つの物流の拠点として、中国の中でもいかに重要な地域であるかという説明を受けました。



連雲港港視察

11月11日

連雲港市から揚州を超え蘇州市へバスで約500kmの移動をしました。連雲港市を9時に出発し、蘇州市に到着したのは19時30分でした。途中休憩もありましたが、ほとんどがバスの中で過ごすことになり、団員は大変疲れ気味で、ハードな一日となりました。



蘇州市高新区管理委員会視察

11月12日

(1) 視察

蘇州市の開発区で発展が目覚ましい高新区委員会を訪問し、高新区の概要説明を受けました。高新区は、日本企業405社、他国の企業を合わせると全体で約2000社が進出しています。また、上海万博までに蘇州市と上海市の間を新幹線により約25分で移動することが可能となり、地理的にも恵まれた蘇州市はさらに発展していくとのことでした。

その後、日本の大手物流企業である日本通運(株)の子会社である蘇州日通国際物流有限公司の倉庫の視察を行い、同社から中国での物流方法について貴重な話を伺うことができました。同社は「トラック輸送をシステムにより一括管理を行い「見える物流」をモットーとしているとのことでした。



蘇州日通国際物流有限公司視察

(2) 表敬訪問

午後からは蘇州市人民政府を表敬訪問し、副市長との会見を行いました。副市長からは蘇州市は中国の中でも輸出入総額の伸びが著しく、中でも日本は非常に重要な貿易パートナーであることが紹介されました。また、中尾局長から蘇州市と大阪は共通点があり、昔から運河が発達し、水都と呼ばれていることや経済の中心地として栄えたことを述べ、互いに更なる発展と交流を続けることを確認しました。



蘇州市人民政府表敬訪問

11月13日

中通国際海運有限公司へのポートセールス
ポートセールス団から団長の中尾港湾局長をはじめ6名が中通国際海運有限公司を訪問し、楊向東総経理と相互に情報交換を行いました。現在、中通国際海運有限公司のコンテナ船が、上海から堺泉北港へ毎週水曜日1便の定期コンテナ航路が設けられています。堺泉北港の発展に向けた相互協力について協議しました。

5日間で距離の離れた2都市の訪問、視察やセミナー、商談会など、ハードな日程でしたが、連雲港市、蘇州市の人民政府の協力を得て、意義深い、充実したポートセールス活動ができました。

堺泉北港ポートセールス訪中団名簿

団長	大阪府港湾局	局長	中尾 恵昭
副団長	関西港湾サービス(株)	代表取締役社長	井内 哲義
	大阪運輸(株)	業務部 部長	大石 真一
	(株)カワサキ	代表取締役社長	川崎 治
	共立梱包(株)	代表取締役	新井 茂文
	コーナン商事(株)	執行役員 中国室室長	荒川 春子
	堺泉北埠頭(株)	統括部長	野口 正夫
	山九(株) 泉北支店	副支店長	井口 雅之
	山九(株) 泉北支店	グループマネージャー	河野 栄作
	伸共運輸(株)	代表取締役社長	田房 孝
	伸共運輸(株)	営業係長	戸部 力
	(株)大都	常務取締役	米田 芳司
	日本通運(株) 堺支店	泉州支店長	藪中 英次
	阪南倉庫(株)	課長	広瀬 重弥
	阪南倉庫(株)	課長代理	泉 博之
	堀富商工(株)	課長	多田 博資
	港通船運輸(株)	代表取締役社長	荒石義一郎
	大阪府港湾局	振興担当部 部長	中田 憲正
	大阪府港湾局	経営振興担当課主査	井上 義之
	(株)東麗ツーリスト	代表取締役	中平 永華

臨海企業が支える海面清掃の取り組み

社団法人大阪府清港会

社団法人大阪府清港会

当会は、堺泉北港の航行船舶の安全と環境衛生の向上に資することを目的に、昭和47年9月、第五管区海上保安本部の許可を得て設立、現在に至っております。

清港会の活動 ~海面清掃活動~

堺泉北港及びその付近水面に漂流している浮遊物(塵芥、汚物)等の回収、除去や海への油漏れ事故等の防止を図り、海上交通の安全の確保と美しくきれいな港づくりに努めております。



清掃船「しらさぎ」



泊地を埋める浮遊物



活動を支える仕組み

当会の活動は、堺泉北臨海工業地帯進出企業のうち150社(H21.5月現在)の会員企業をはじめ、地元3市(堺市・高石市・泉大津市)、大阪府のそれぞれのご支援とご協力により成り立っています。

要請に迅速に応える存在

台風、さらには昨今の集中豪雨後や油流出事故時には緊急出動、流木・浮遊物の除去やオイルフェンスの設置を行いました。



こうした事業活動が円滑に実施できますのも、会員企業はもとより多くの皆様のご理解とご協力の賜であると深く感謝を致しております。今後とも、それぞれの関係者が力を合わせて、堺泉北港の安全で美しくきれいな港づくりを目指していけますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

堺泉北港泉北地区における港湾進出企業の皆さんとの協働美化について 大阪府港湾局振興担当部施設運営担当課

大阪府港湾局では、港湾地域の環境悪化が著しい状況にある堺泉北港泉北(泉大津)地区の4埠頭の環境改善のための取り組みのひとつとして、行政と港湾進出企業の皆さんとの協働による定期的な美化活動について、平成20年度から各埠頭の港湾進出企業でつくる協議会(泉北4区懇話会、泉北港港運協議会、泉北6区協議会、汐見埠頭協議会)及び泉大津市港湾振興室と協力して実施しており、平成21年度においても継続して実施しています。

平成21年度第4四半期の予定は下記のとおりですので、協議会への加入、未加入を問わず協力いただける企業の皆さんは是非ともご参加いただきますようお願いいたします。

また、環境悪化の一因として、港湾を一時的にしか利用しない港湾関係車両の運転手によるポイ捨てゴミもあるかと思われますことから、各企業におかれましては、運転手へのポイ捨て防止の周知・啓発についてもご協力をお願いします。

平成21年度第4四半期協働美化実施予定表

実施月	地区(埠頭)	日時	集合場所
1月	泉北5区(小松)	1月26日(火) 12:30~14:30 (雨天中止)	阪神高速道路株式会社 泉大津交通管理基地前
	泉北6区(助松)	1月18日(月) 14:00~16:00 (雨天中止)	実施済
2月	泉北4区(松の浜)	2月16日(火) 15:00~17:00 (雨天翌日順延)	集合しません。各企業の皆さんは、隣接する道路の清掃をお願いします。
	泉北7区(汐見)	2月20日(土) 9:00~11:00 (雨天中止)	汐見港湾労働者福祉センター駐車場
3月	泉北5区(小松)	3月23日(火) 12:30~14:30 (雨天中止)	阪神高速道路株式会社 泉大津交通管理基地前
	泉北6区(助松)	3月12日(金) 14:00~16:00 (雨天中止)	助松埠頭港湾労働者福祉会館駐車場

ちきりアイランド(阪南2区)まちびらき記念イベント開催 阪南港港湾振興連絡協議会

ちきりアイランド(阪南2区)では、第一期製造業用地が竣功し、現在は進出企業の工場建設が進められ、新しいまちが形成されつつあります。平成21年11月1日(日)の大阪府及び岸和田市主催による「ちきりアイランドまちびらき式典」の開催に合わせて、阪南港港湾振興連絡協議会では、阪南港の知名度向上、利用促進を目的として、府民を対象としたまちびらき記念イベントを開催しました。

イベントでは、地元の名産品を取り揃えた物産展や、落語家「月亭八光」さんによるトークショー、親子で楽しんでいただけるチリモン探しや移動水族館、進出企業や阪南港のPRブースなど、様々な催しを行いました。

途中からの強い雨で、予定より早い終了となりましたが、約1,000人の方々に参加していただき、盛況なイベントとなりました。

1. 日 時 平成21年11月1日(日)11:30～12:50 雨天のため、途中中止。
2. 場 所 ちきりアイランド(阪南2区)/ 大阪府都市整備推進センター阪南事業所内(岸和田市岸之浦町9番地)
3. 主 催 阪南港港湾振興連絡協議会(大阪府、岸和田市、貝塚市、忠岡町)
後 援 大阪府港湾協会、岸和田港振興協会、貝塚港湾振興会
4. 参加人数 約1,000人
5. 内 容

オープニングイベント

落語家の月亭八光さんをお招きし、トークショーを開催しました。当イベントの内容やちきりアイランド(阪南2区)の紹介をしていただき、盛況のうちにトークショーを終了しました。



月亭 八光さんトークショー



移動水族館(タッチングプール)



チリモン探し

移動水族館・チリモン探し・万華鏡作り

大阪府水産技術センターにご協力いただき、ちきりアイランド(阪南2区)の干潟で生息している生物の展示や、実際に魚介類を触って楽しめる、タッチングプールを用意していただきました。また、きしわだ自然資料館ときしわだ自然友の会にご協力いただき、ちりめんじゃこの中からチリモンスターを探す「チリモン探し」や万華鏡作りを来場者の皆さまに体験していただきました。

第一期製造業用地進出企業の企業紹介ブース

ちきりアイランド(阪南2区)の第一期製造業用地に進出していただいた企業の皆さまに、企業紹介ブースを出展していただきました。主に、製品見本や企業紹介のパネル展示、またパンフレットの配布などが行われました。進出企業の皆さまに出展していただけたことで、一般の方々にちきりアイランド(阪南2区)の現状について、理解を深めてもらうことができました。

地元産品の物産展

岸和田市をはじめ、貝塚市や忠岡町の地元名産品を取り揃えた物産展を開催しました。地元の漁協や観光協会、社会福祉法人等の皆さまにご協力いただき、たこめしやアナゴのてんぷらなどの水産物加工品、地元で採れた農産物、地元の銘菓、つげ櫛、泉州タオルなどの販売等々、さまざまな地元産品を出展していただきました。

阪南港・ちきりアイランドまちづくり会 PRブース

大阪府営港湾の一翼を担う阪南港や、ちきりアイランド(阪南2区)の現状、将来像、役割などを一般の方々にも知っていただくため、阪南港とちきりアイランドのPRブースを設け、パネル展示等を行いました。



< 企業紹介ブース >



< 物産展 >



阪南港・まちづくり会PRブース

堺泉北港地元港湾振興会合同視察実施

高石港湾振興会

堺泉北港地元港湾振興会(高石・堺・泉大津)では、堺泉北港の地元港湾振興会の連携を密にして会員相互の連帯を深め、広域的に一体となった港湾振興事業を展開することにより、堺泉北港のより一層の発展を図る目的で、毎年合同視察を実施しています。

今年度は、6年目で10月29日(木)~30日(金)に37名の参加により仙台塩釜港(仙台港区・塩釜港区)を視察いたしました。

仙台塩釜港は、平成13年4月に東北初の特定重要港湾に昇格したのを機に港名を仙台塩釜港に変更し、仙台港区と塩釜港区とされました。

仙台港からは世界各地へコンテナ航路があり、国際コンテナ定期航路(6航路週6便)京浜以北唯一の北米輸出ウィークリー航路・豊富な内航フィーダー航路(7航路週13便)と多彩なコンテナ航路があり、世界60カ国との輸出入実績があります。

まず1日目は、新日本石油精製(株)仙台製油所の概要説明を受け、バスにて工場施設の見学を行いました。その後、仙台港国際ビジネスサポートセンターで、宮城県港湾課職員による仙台港区の概要説明を受け、県職員の案内の下、高砂コンテナターミナル等の視察を行いました。

また2日日も、県職員による塩釜港区の説明を受け、その後松島港の視察を行いました。

視察に参加された方々や、視察にご協力いただきました方々にこの紙面をお借りしてお礼を申し上げます。



高砂コンテナターミナル



新日本石油精製(株)仙台製油所

堺泉北港地元港湾振興会合同研修会開催

堺港湾振興会

堺泉北港に位置する高石、泉大津、堺の三港湾振興会の合同研修会が、昨年11月25日(水)にリーガロイヤルホテル堺で開催されました。

早いものでこの研修会は12回目を迎えました。

今回は、講師に関西大学大学院会計研究科の宮本勝浩教授をお招きしました。

演題は、「2010年の世界・日本・関西の経済展望」で、一昨年の「リーマンブラザーズ」の破綻による先進諸国の経済は、非常な経済危機に直面している現状を分かり易く分析していただきました。

講師によりますと、一人当たりの県民所得(平成18年)は、東京都が1位で482万円に対し、大阪府は9位の308万円となっています。

大阪・関西の景気の長期停滞の原因は、許認可権が霞が関に集中し、企業のみならず人口、資本、情報が東京に集まっていることによるとしています。

また、県内総生産比率の推移では、大阪府は昭和40年には9.7パーセントであったのが、平成18年には7.5パーセントとなり、2.2パーセント減っています。この減り方は、平成18年の京都府の県内総生産比率に相当し、大阪府の景気低迷が進んでいると分析なさっています。

この解決策としては、権限、財源を含んだ分権化の推進、アイデアを活かした独創的なビジネスの育成、そして産学連携であると話され、参加された方々は熱心に聴き入っていました。

三港湾振興会では、今後とも会員企業の皆様方に情報を提供し、有意義な研修会を実施して参ります。



港湾施設見学会を開催

高石港湾振興会

高石市内の5小学校の4年生・5年生を対象に、総合学習の一環として海や港に関心を持ってもらうことを目的に高石港湾振興会が大阪府港湾局と大阪水上警察署の協力を得て、港湾施設の見学会を開催しました。

この見学会は、大阪府港湾局旅客船「はまでら」に乗船して海から港湾施設を見学するもので、今年で3年目を迎えました。

児童たちは船上から阪九フェリー、大阪ガスLNGタンク、ガントリークレーン等、日頃見ることができない様々な港湾施設を見学し、大満足といった感じでした。

また、港湾局担当者からの分かりやすい説明を興味津々で聞き入っていました。

開催日

9月28日	取石小学校4年生	100名
9月30日	高石小学校4年生	54名
10月1日	清高小学校5年生	78名
10月2日	東羽衣小学校4年生	124名
10月20日	高陽小学校4年生	103名



港湾施設見学会を開催

大阪府港湾局堺泉北港湾事務所

港湾局では平成15年より毎年、堺泉北港において泉大津市の小学校を対象に、みなとや海岸に関心を持ってもらうことを目的に港湾施設見学会を実施しています。

例年、2～5小学校に参加をいただいておりますが、今年度は3小学校・約350名が参加しました。

見学会の内容は毎年、港湾局所有船の「はまでら」による海からの港湾施設見学や大津川河口部での野鳥観察、「大阪のみなとと海岸」、「ゴミのゆくえ」に関する勉強会等を行っていますが、今年度は3小学校とも荒天等の理由により、船での港湾施設見学や野鳥観察ができず、各小学校で出前講座を行いました。

児童は楽しみにしていた海からの港湾施設見学や野鳥観察ができず残念な様子でしたが、小学校で行った出前講座では、大阪のみなとや海岸の概要、津波・高潮、海岸施設の役割などについて説明を行い、特に津波のシミュレーション動画を用いた説明には、津波の恐ろしさを学んだ様子でした。

また、「ゴミのゆくえ」の説明では、自分たちが出したゴミが燃やされ灰になり、最終的には、島を作る材料になることなどを学び、児童たちは驚いた様子でした。

見学会の実施に際しては、泉大津市港湾振興室を始め、大阪湾フェニックスセンター、環境農林水産部動物愛護畜産課、泉州農と緑の総合事務所、日本野鳥の会、阪神高速道路(株)等、多数の関係機関にご協力をいただき、無事全日程を終えることができました。



第36回^{みなと}堺港まつり開催

堺港湾振興会

平成21年11月8日(日)第36回「堺港(みなと)まつり」を堺市堺区出島漁港「とれとれ市」に於いて開催いたしました。

当日はまさに秋晴れの中、たくさんの方々にお越しいただきました。

小学生以下を対象とした大声大会では、堺海上保安署のご協力によりまして、優勝者を1日船長とし、参加者とともに巡視艇「しぎかぜ」に乗船し、体験航海を楽しんでいただきました。更に、来場者の皆様にも、丸高渡船のご協力により体験航海を実施し、沖では堺海上保安署の消防船「かいりゅう」の放水展示や普段あまり見る事のない堺泉北港の景色を堪能していただきました。

他にも、パルーンショーや今年初めて参加頂きました「京」による和太鼓演舞などのステージショー、似顔絵コーナー・フルーツ販売コーナー等で、まつりを盛り上げていただきました。

ご支援、ご協力をいただきました堺市漁業協同組合連合会をはじめ、堺海上保安署や堺港湾振興会会員企業の皆様に紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。



2009年中古自動車・合板取扱状況について

輸出中古自動車 一時期は激しい落ち込みも、回復傾向に
財務省貿易統計によると、堺泉北港の中古車輸出台数は世界的な不況の影響を受け、2008年10月から2009年2月にかけて大幅な落ち込みを見せていた。

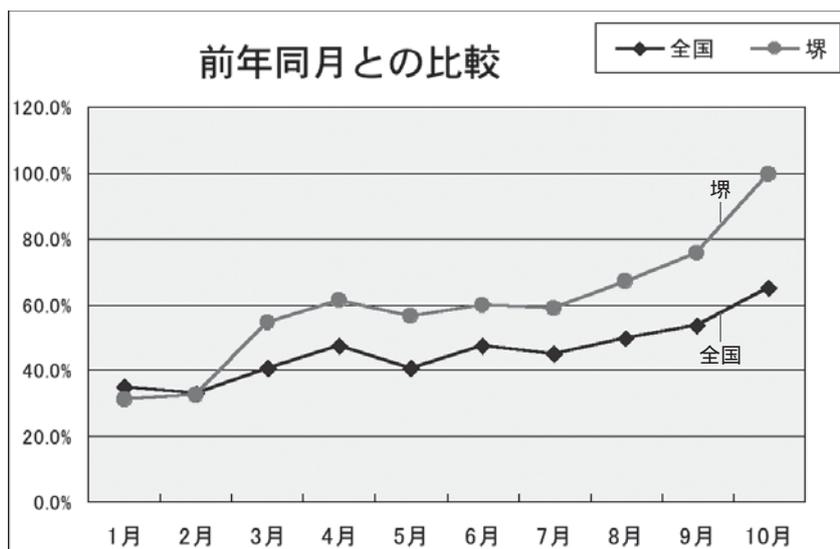
しかし、2009年3月以降は回復傾向に転じており、現在は全国平均より先高い水準で回復を続けている。

2009年1月から10月の輸出台数は52,822台と前年同期(89,067台)と比較して約40%減少しているが、10月の輸出台数は前年同月比99.7%、2007年同月と比較しても83.7%の水準まで回復している。

前年同月との比較は表1、月別の輸出台数は表2、3のとおり。



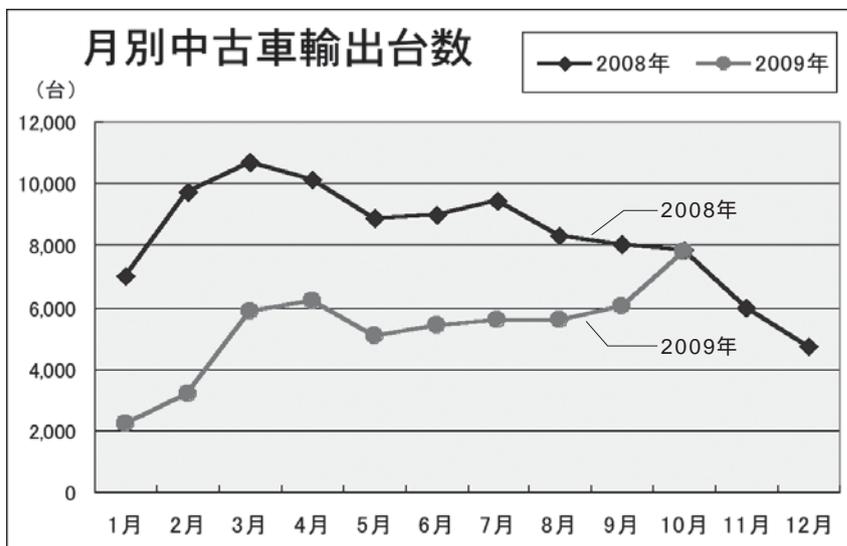
<表1>



<表2>

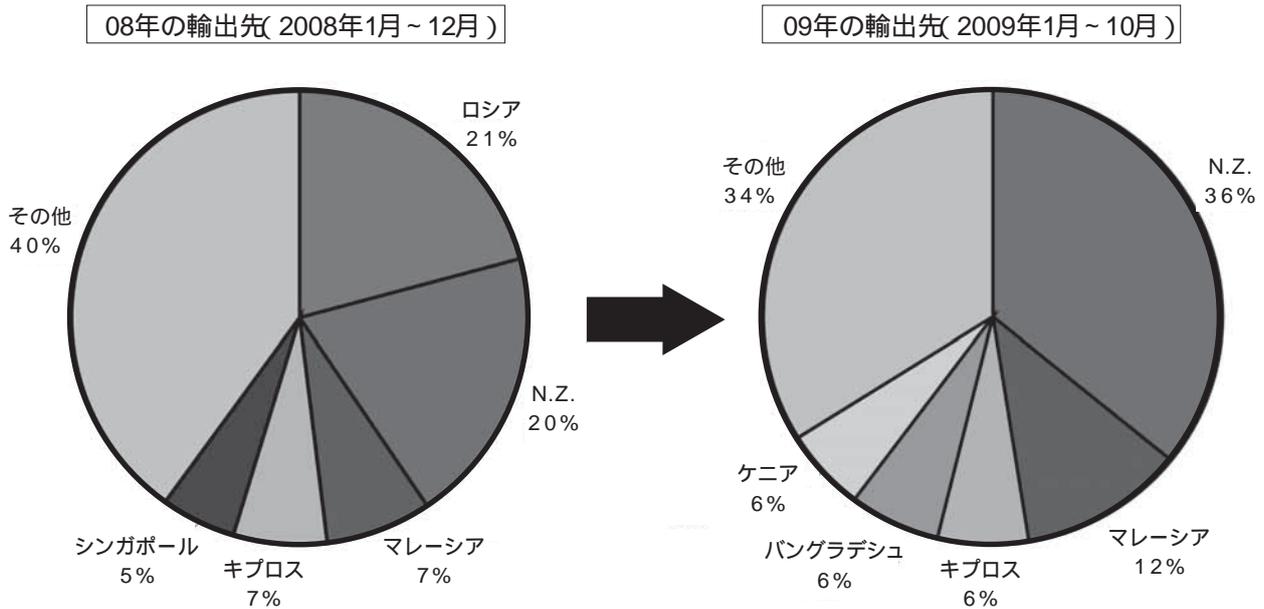
	2008年	2009年	前年同月比
1月	7,007	2,191	31.3%
2月	9,739	3,185	32.7%
3月	10,714	5,847	54.6%
4月	10,123	6,182	61.1%
5月	8,887	5,034	56.6%
6月	8,994	5,386	59.9%
7月	9,416	5,554	59.0%
8月	8,317	5,579	67.1%
9月	8,036	6,056	75.4%
10月	7,834	7,808	99.7%
11月	5,996		
12月	4,742		
合計	99,805	52,822	

<表3>



国別の取り扱いでは、ロシア向けが世界的な不況と現地の規制強化の影響を受け、90%以上の減少となったほか、英国向け、シンガポール向けなどが大幅に減少している。一方、最大の輸出先であるNZ(ニュージーランド)向けの2009年1月～10月の取扱実績(16,282台)は前年同期比(18,029台)で約10%の減少にとどまっている。また、ケニア向けが前年同期比約188%(08年:1,459台、09年:2,738台)、バングラデシュ向けが前年同期比(08年:1,256台、09年:2,807台)約223%となるなど、一部の仕向国は大幅な増加となった。

輸出先の変化



輸入合板 取扱量減少も、全国1位を維持

2009年1月から10月の府営港湾における輸入合板の取扱量は、堺税関支署通関分が260,950立方メートルと前年同期(344,562立方メートル)と比較して約24%の減少となった。堺税関支署岸和田出張所通関分も129,409立方メートルと前年同期(165,789立方メートル)と比較して約22%の減少となっている。合計した取扱量も390,359立方メートルと、前年同期(510,351立方メートル)と比較して約24%の減少となったものの、輸入量全国1位は維持した。



輸入合板の取扱量は、建設需要の落ち込みに伴い、平成19年ごろから全国的に減少傾向が続いている。

全国の輸入合板の取扱量及び取扱い上位は下記のとおり

- 全 国：2,438,459立方メートル(前年同期比約23%減)
- 名古屋：334,306立方メートル(前年同期比約25%減)
- 横 浜：226,122立方メートル(前年同期比約10%減)
- 千 葉：200,397立方メートル(前年同期比約18%減)
- 博 多：162,765立方メートル(前年同期比約34%減)

